

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：放課後等デイサービスさくらんぼ  
荒牧

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1階がプレイルーム、2階が活動スペースになっています。カリキュラムに応じて、1階と2階に分かれて小グループで活動しています。様々な活動を十分に行うことが可能です。		今後も活動スペースを活かして、小グループで安全に活動できるように工夫を重ねていきたいと思えます。
	2 職員の適切な配置	職員は基準以上の配置をしています。子どもの利用人数に合わせて、職員の配置人数を決めています。	・先生方とても優しく親切で安心です。	今後も引き続き、基準以上の職員配置を予定しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	障害特性に適した環境作りを心掛けています。視覚的優位なお子さまには、ティーチプログラムを活用しています。予定を絵カードなどで分かりやすく伝えていきます。活動ルームでは、課題に集中できるように、子どもの集中を途切れさせるものを省くなどの工夫をしています。2階の活動ルームはトイレ以外、バリアフリーとなっています。		今後もティーチプログラムの習慣化、活動スペースの構造化については、日々改善を重ねながら、子どもたちが快適に利用できるように多角的に見直しをしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、活動の後には掃除や消毒をし、清潔に保っています。子どもたちがゆったりと安全に活動できるように心がけています。		今後も引き続き、清潔さを心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	子どもひとりひとりに担当の職員を決め、担当職員が中心となり、職員全体で支援内容を討議し、計画→実践支援→評価→改善→計画を行っています。毎日、申し送りもしています。		今後も引き続き、支援の振り返り、改善を行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在のところ行っておりません。		今後必要に応じて、実施検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、テーマを決めて内部勉強会を実施しています。外部研修を受けた際は、参加職員がフィードバックしています。また、実務者研修や行動援護研修など必要に応じて参加しています。		今後もDVD研修などを積極的に取り入れ、職員全体の資質向上を目指します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様からは、契約更新などの面談の際に「子どもが困っていること」「ねがい」「ふりかえり」「今後の課題」などをお聞きしています。また、相談支援事業者が作成したサービス利用計画書や普段の子どもの行動や様子、特性を理解し、発達段階に応じた放課後等デイサービスの個別支援計画を年に2回(前期、後期)作成しています。		今後もこれまでのアセスメントを元に、常に新しい情報を聞き取りながら、子どもたちや保護者様の「課題」や「ねがい」に寄り添った個別支援計画作成を心がけていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの発達段階や特性に応じて、個別や集団のプログラムを考えています。		今後も子どもたちが楽しめるプログラムを考えていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画に基づいた個別支援計画書を作成し、支援の際の具体的な取り組みを記載しています。		今後も具体的な取り組みを示したわかりやすい支援計画の作成を心がけていきます。
適切な支援の実施	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で個別支援計画を見直し、そして確認し、計画に沿って支援を行っています。		今後も職員全員で個別支援計画に沿った支援を行います。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	児童発達支援管理責任者を中心に月間予定表を立案しています。また、活動ごとの担当者が責任を持って、活動のプログラムを考えて提案し、職員全員で子ども個々の発達や特性を考慮して活動内容の詳細を決めています。		今後も児童発達支援管理責任者を中心とした職員全員でのチーム支援を目指します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短い時間の中でメリハリをつけて活動できるようにプログラムを決めています。土曜日は平日では出来ない調理実習や公共交通機関を使ってお出掛け、外食体験、買い物学習などを行っています。長期休暇は季節ごとのイベント、長期休暇の間で達成できる目標をたて、個別に課題を提案しています。		学校活動を終えた子どもたち、休日の子どもたちそれぞれの様子に注視しながら、楽しみながら課題に取り組めるように支援内容の充実を図ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
支援の提供 t (続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムは同じプログラムでも少し変化をつけるなどの工夫をしています。担当者ひとりで考えるのではなく、職員全体で考えることにより固定化を防いでいます。	・おやつ作り、遠足、乗り物の勉強等楽しみもり たくさんで子供も喜んでます。	季節感を取り入れたたり、子どもたちの興味のある事柄を採用したり、職員全員で多角的な視点から活動プログラムを考えていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、職員全員でその日の支援内容やプログラムの確認、最近の子どもの様子や変化などの話し合いをしています。子どもの担当や役割分担などを決め、書面に書き出し掲示しています。		今後も口頭だけでなく、紙面でも情報を共有することで、支援内容が細部に行き渡るように心がけます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気になった事やいつもと違った事を振り返っています。職員間で情報交換や意見交換を行っています。		子どもの先行きを見据え、職員全員で些細なことも取りこぼさずに情報を共有していけるようにします。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録をしっかりと取り、振り返りを行うことで次回の支援に改善点を反映させています。		複数での記録のチェックなどを心がけていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回以上モニタリングを行い、計画の見直しや改善を実施しています。		モニタリング内容を職員間で熟考し、計画の見直しや改善を行います。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもを継続して見ている担当職員と児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しています。情報や意見交換を行っています。終了後は会議内容を全職員に報告し情報の共有をしています。		今後も継続した支援と情報共有を心がけ、将来に向けての支援に活かしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達さくらんぼキッズ、さくらんぼファミの同系事業所からは保護者の同意を得てから情報の共有を行っています。保育所や幼稚園、小学校との連携は不十分なので今後しっかりと情報を共有したいと考えています。		今後は各連携機関との情報共有の機会を得られるように努めていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	問い合わせがありましたら真摯に応じる体制を整えています。		今後も問い合わせがありましたら真摯に応じる体制を整えていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関の意見が必要と思われる時、当事業所では支援内容や支援方法について相談し、助言を受けています。研修につきましては可能な限り参加したいと考えています。		社内研修やDVD研修も行いながら、専門機関での研修にも可能な限り参加していきたいと思ひます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在のところ交流などの機会を設けていません。	・入所して間もないのでわかりません。	今後機会があれば検討していきたいと思ひます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在のところ地域交流の機会を設けていません。		今後フリマなどを通して子どもたちの手芸や工作作品を、地域の方にご覧いただける機会を設けたいと検討中です。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や契約更新時に支援内容の説明をしています。契約時には利用契約書や重要事項説明書で利用者負担についての説明を行っています。		今後もわかりやすい説明を心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在のところ行っておりません。	・入所して間もないのでわかりません。 今後はペアレントトレーニングの研修など護者様が学べる場を紹介できればと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳、LINEなどで子どもの様子や発達の状況や今後の課題について細部にわたり連絡をし、お互いに情報共有をしています。	・入所して間もないのでわかりません。 今後も送迎時でのやり取りや連絡帳、LINEをうまく活用してお互いの情報共有を心がけていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合にはスタッフ全員で情報を共有し適切に迅速に対応を心掛けています。必要に応じて面談も随時行っています。又、当事業所では解決できない時には必要に応じて専門機関と連携をとっています。	・入所して間もないのでわかりません。 今後も迅速かつ適切な対応を心がけていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回、開催する計画をたてています。今年の荒牧は、子どもたちに行っているビジョントレーニングを説明し体験してもらいました。	・入所して間もないのでわかりません。 今後も年2回の開催と、日頃の支援内容に即した会を設けていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作成し、契約時には苦情窓口の説明をしています。苦情があった時には聞き取り、経緯の確認をし真摯に受け止めて対応しています。繰り返さないために改善策を考え情報を共有し、職員全員で周知徹底しています。	・電話やお手紙等で、すぐに対応してくだ さいますので、心配なく安心です。 今後も迅速かつ適切な対応を心がけていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者からの聞き取りや研修などで知識を深め個々に合ったコミュニケーション方法を検討し実践しています。	今後も個々に合ったコミュニケーション方法の見直しを行いながら、進めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	偶数月の第2土曜日に「あらかき通信」を発行しています。全体的なカリキュラムや予定を伝えています。個別に対しての連絡は連絡帳やラインを通じて細かく伝えています。	今後も「あらかき通信」の予定を元に、個別の対応もしていきたいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関してのお知らせを配布しています。職員は個人情報の保護に努めています。	今後も徹底して個人情報の保護に努めます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全てのマニュアルを作成しています。保護者に対しては連絡帳のうしろに提示しています。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回(春、夏)の長期休暇に避難訓練と地震訓練を行っています。消防署の方に来てもらい講習会も受講しています。	・入所して間もないのでわかりません。 今後年2回の訓練は、それぞれ一週間を通して実施していきたいと思います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ガイドラインに沿って虐待防止の研修を行っています。	今後も引き続き研修の機会を設けます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの「ある」「なし」や品目など毎年の面談時に確認しています。医師の指示書のご提出はいただいております。今後、安全のためにも提出いただきたいと思います。	今後、該当するお子様には医師の指示所のご提出をお願いしたいと考えています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	どんな些細な事もヒヤリハットを作成しています。その都度、スタッフ全員で情報を共有し振り返りを行い防止策の検討を行っています。		今後も引き続き、ヒヤリハットの作成、情報の共有、振り返りを徹底していきます。
満足度	1	子供は通所を楽しみにしているか		・毎日でも行きたいくらいに楽しんでいます。	今後も楽しんで通所して貰えるような事業所を目指します。
	2	事業所の支援に満足しているか		子供がとても嬉しく過ごせてますのでとても満足しています。	今後も満足して貰える支援内容を創意工夫していきます。